

つらい月経痛(生理痛)の原因は **病気** かもしれません

監修 ▶ **小堀 宏之** 先生 (医療法人福寿会 メディカルトピア草加病院 低侵襲手術センター長・婦人科科長)

● 月経困難症(げっけいこんなんしょう)とは?

生理(月経)中に、日常生活に支障をきたしたり、鎮痛薬を服用しなければならぬほどの症状がある場合を月経困難症といいます。月経困難症には、原因となる疾患のない「機能性月経困難症」と、原因となる疾患がある「器質性月経困難症」の2つのタイプがあります。



● 器質性月経困難症の原因となる疾患は?

代表的なものとして、

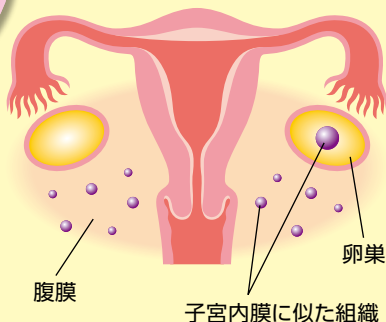
子宮内膜症、**子宮腺筋症**、**子宮筋腫** があげられます。

器質性月経困難症の主な原因

し きゅう ない まく しょう 子宮内膜症

子宮以外の臓器(卵巣や腹膜)で子宮内膜組織に似た組織ができる病気です。病巣にできた組織が、月経のたびに増殖と剥離を繰り返すことで、炎症や癒着を引き起こします。

卵巣や腹膜

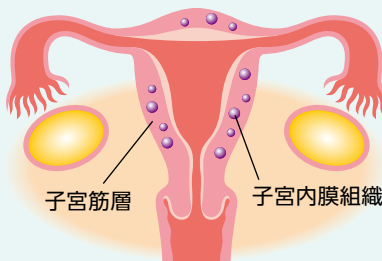


月経痛、下腹部痛、腰痛、性交痛、排便痛、不妊など

し きゅう せん きん しょう 子宮腺筋症

子宮筋層の中で、子宮内膜組織ができる病気です。子宮筋層の中にできた組織が、月経のたびに増殖と剥離を繰り返す、病気が進むにつれて子宮筋層が厚くなります。

子宮筋層

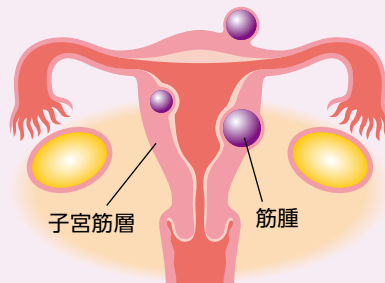


月経痛、経血量の増加、出血持続日数の延長など

し きゅう きん しゅ 子宮筋腫

子宮筋層にできた、こぶのような形状の良性の腫瘍です。筋腫の位置(子宮内膜直下、子宮筋層内、子宮筋層の外側)や大きさ、個数によって症状はさまざまです。

子宮筋層



貧血症状(めまい、立ちくらみなど)、経血量の増加、不正出血(月経時期以外の出血)、月経痛、不妊など

どんな病気?

どこにできるの?

症状は?

どのような治療法があるの？



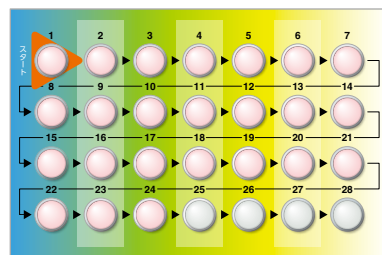
子宮内膜症、子宮腺筋症、子宮筋腫の治療は、主に薬を使う薬物療法と、手術を行う外科的療法があります。症状や年齢、妊娠の希望などを踏まえて、どのような治療を選択するかを決めていきます。

対症療法

鎮痛剤や漢方薬などを使って、月経痛などの痛みを抑える治療です。

● 卵胞・黄体ホルモン混合剤

2種類の女性ホルモン(卵胞ホルモンと黄体ホルモン)が含まれた薬剤です。排卵と子宮内膜の増殖を抑制することで痛みの物質(プロスタグランジン)の過剰な産生を抑え、月経痛を緩和します。飲みはじめのころに吐き気、頭痛などがみられることがあります。



● 黄体ホルモン製剤

卵巣の機能と子宮内膜の増殖を抑える薬剤です。痛みの軽減に加え、子宮内膜症の病巣に直接働き病巣を小さくする働きもあります。月経時期以外の不正出血などがみられることがあります。

● GnRH アナログ製剤

女性ホルモンの分泌を抑え、月経と排卵をとめ、一時的に閉経状態をつくることにより病巣を小さくする働きがあります。通常4週に1回、皮下注射を行います。

更年期障害に似た症状(のぼせ、ほてり等)がみられることがあり、通常6ヵ月間使用します。

ホルモン療法中は症状が軽くなるとともに病巣が縮小することもあります。ケースによっては病巣が大きくなることもあるため、医師による定期的な観察が必要です。

薬物療法

ホルモン療法

外科的療法

● 保存手術

病巣だけを摘出したり、縮小させたりする手術です。

● 根治手術

子宮、子宮・卵巣を摘出する手術です。

以前は、お腹を切る開腹手術が一般的でしたが、最近は保存手術、根治手術ともに内視鏡(腹腔鏡、子宮鏡)をつかった手術が増えています。腹腔鏡下手術の場合は、おへその周りに数カ所穴を開けてから腹腔鏡や器具を挿入し、病巣を摘出します。

